

作成日 2025年 6月 29日
(最終更新日20 年 月 日)

受付番号： I2025-134

課題名：腫瘍微小環境における獲得免疫活性化の構造的基盤と誘導機構の解明

1. 研究の対象

2005年4月～2025年6月に当院でがんの手術を受けられた方

2. 研究期間

研究実施許可日～ 2027年 3月 31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2025年 8月 1日

提供開始予定日： 該当なし

4. 研究目的

この研究では、がんの組織にある「免疫細胞（T細胞）」がどのように活性化し、がん細胞を攻撃する力を高めているのかを調べています。特に、T細胞に「がんを攻撃する準備」をさせる働きを持つ「抗原提示細胞」という細胞に注目しています。

このような仕組みを解明することで、がん免疫治療（免疫チェックポイント阻害薬など）の効果が高まる条件や、新たな治療法の手がかりを見つけることを目指します。

5. 研究方法

東京科学大学 疾患バイオリソースセンターに保管されている試料や情報を主な対象とします。当院においてバイオバンク事業に対する同意が取得された肺癌、乳癌、大腸癌、膵癌、肝臓癌、胆道癌、頭頸部癌、食道癌、胃癌、口腔癌、腎・尿路上皮癌、子宮癌患者さんの組織検体を対象としています。ただし、バイオリソースセンターの症例のみでは検証が十分に行えない場合においては、バイオリソースセンターに登録のない症例も対象といたします。本研究は患者様お一人ずつの直接のご同意を頂かずに、このお知らせをもって患者様皆様からのご同意を頂いたものとみなさせていただきます実施いたします。既に集められた試料を用いるので、追加で行われる処置などはありません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：腫瘍の遺伝子変異量、年齢、性別、喫煙の有無、飲酒の有無、既往歴等

試料：手術で摘出した組織、血液等

7. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、郵送等により共同研究機関および業務委託先等へ提供します。

対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 研究組織

【研究責任者】

東京科学大学人体病理学分野 加藤祐己

【共同研究機関】

日本大学医学部生体機能医学系生化学分野 児玉 真

【既存試料・情報の提供のみを行う機関】

東京大学生命データサイエンスセンター (LiSDaC)

KOTAI バイオ

フィルジェン株式会社

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は本学人体病理学分野の教室費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学 人体病理学分野 加藤祐己

連絡先：03-5803-5177

ykatpth1@tmd.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学 人体病理学分野 加藤祐己

研究代表者：東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 人体病理学分野 加藤祐己

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）